

直島地域活性化プロジェクト

既存のガイドマップには掲載されていない直島の魅力を伝えたい「船内ガイド」

「船内ガイド」は、昨年度から現在も行っているプロジェクトであり、直島を訪れる人に、島内のめぐり方やお役立ち情報などを提供しています。昨年度は9月～2月に基本毎週土曜日実施し、通算で17回のガイドを行いました。また、観光マップを作成しました。船内ガイドでは、既存の観光マップには記載されていない島の自然や歴史について紹介しました。

2010年から3年ごとに開催されてきた瀬戸内国際芸術祭（次回は来年2019年開催）などのイベントで、直島を訪れる観光客の人数は増加していますが、一方でガイドなどの観光設備は十分ではありませんでした。また、高松～直島の交通時間は1時間かかり、その間、暇を持て余している観光客も多くみられました。これらの問題を解決するために島内ではなく、船内でガイドを行おうと思いました。

船内ガイドを行う前に、観光客が何を知らがっているのかを把握する必要があったのでアンケート調査を行いました。400人以上の方にアンケート調査を行ったのですが、集計をしまとめるの

が大変でした。観光客が興味を持っていることに大体のあたりをつけてアンケート調査をしたのですが、全然違う結果になり驚きました。ガイドを行うようになってからは、どこまで詳しい情報提供をしたらいいのか、どんな風に話しかけたらいいのか、などのことを考える必要がありました。

ガイドを行ってみて、船内でガイドをしてほしい人の大半は、直島についての予備知識がないことが分かりました。そのため、バスの時刻表やレンタサイクルなどの交通面について知りたい人が多いということが改めて分かりました。また、島内のトイレの位置など、観光客の方には大切な情報もあることが分かりました。

経済学部3年 難波恵伍



船内ガイドの様子

直島のおすすめスポット・めぐり方

直島はアートだけでなく自然風景も素晴らしいものがあります。その中には文化大混浴といったアートと自然が密接にかかわり、一つの作品となっているものもあります。隠れ（あまり知られていない）スポットとしては「もう一つの再生 2005-N」という大きなごみ箱、本村地区に点在している糸糸でできたアート、地元の小学生たちが描いた「猫バス停留所（仮）」などがあります。

一日で全部回りたい人は朝一番の高松発のフェリーに乗ることをお勧めします。直島に着いたらバスに乗り、地中美術館に行きます。地中美術館などを見てもらった後は本村地区にある私たちが経営しているカフェ、和 cafe ぐうで食事していただき、その後、家プロジェクトを見学してください。そして宮浦地区に戻っていただき、赤カボチャでの写真撮影や、お土産を買って帰りましょう。



港についてすぐ見える「海の家」



直島の海



直島郵便局前にある浮き玉カエル



猫バス停留所



作成した観光マップ（宮ノ浦地区）



作成した観光マップ（本村地区）



家プロジェクトの紹介



おすすめのカフェ紹介



プロジェクトメンバー



和 cafe ぐうの看板



和 cafe ぐう



直島☆のりり丼

EVENT PHOTO



幸町キャンパス
オープンキャンパス
8月7日



教育学部受付中。
高校生、保護者の方々、高校の先生方
など、約1000人が来場されました。



創造工学部 大場研究室
「立体造形基礎演習」



教育学部
コース・領域プレゼンテーション



法学部
入試・進路説明、現役学生達によるキャンパスライフ説明が行われました。



和 cafe ぐう & Hashi cafe 2つのプロジェクトが協力し、地元食材を用いた「かき氷やドリンク」を無料提供。



直島地域活性化プロジェクト



さかいで沙弥島プロジェクト
坂出の名産品である塩・レモンはちみつをふんだんに使用した「塩レモン味のかき氷」を出しました。



直島で採れた梅と香川県の「おいり」をコラボした「はちみつ梅氷」。



経済学部 キャンパスツアー。
matatabiメンバーが約20分かけて、図書館・生協などを案内しました。



サークル発表で踊る「よさこい連・風華」
気が入っていました。